

単元名

もっと 知りたい たんけんたい

教科書 下巻 p.76～87 単元の配当時間 13 時間／活動時期 10～11 月

単元の目標

町のさまざまな場所を探検し、町の人と関わりを深める活動を通して、町の場所やそこで生活したり働いたりしている人について考え、町のよさや町の人への思いに気付いたり、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることがわかったりするとともに、それらに親しみや愛着をもって適切に接し、安全に生活することができるようにする。

小単元の目標と評価例

※ここに示した例は、啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

小単元名と小単元の目標	評価規準（おおむね満足できる）		十分満足できると見取る児童の具体例	努力を要する児童への支援
町には どんな 人が いるのかな（1時間） 春の町探検を振り返る活動を通して、これまでに関わった人や場所についてもっと調べたいことを考え、人との関わりを中心とした町探検への意欲をもつことができるようにする。	態	春の町探検の経験などをもとに、自分が関わったことのある人や関わってみたい人について自分の考えを話したり、友達の話を知ったりしようとしている。	「春の町探検で出会った和菓子のお店の〇〇さんにもう一度インタビューしたいです」「友達の言っていた場所が気になるので、私もそこに行って調べてみたいです」など、春の町探検での体験や友達の発言と結びつけて、自分の調べたいことを決めようとしている。	●春の町探検を想起できるように、撮影した写真や動画を提示したり、友達と探検のようすを振り返るように声をかけたりする。
町たんけんの 計画を立てよう（2時間） 春の町探検の経験を生かして、行く場所や聞きたいこと、必要なもの、気をつけることなどを話し合い、グループごとに町探検の計画を立てることができるようにする。	知	町探検に必要な準備物や気をつけること（ルールやマナー、言葉遣い、安全面など）がわかっている。	挨拶や言葉遣い、交通安全など、町探検に行く際のさまざまなルールやマナーを守ることの大切さに気付いている。	●教科書下巻p.81の「こんなとき どうしよう」や春の町探検でかいた計画カードなどをもとに、「どんなことに気をつけたらよいのかな」「春の町探検で困ったことはなかったかな」などと問いかけ、必要な準備物や気をつけることを考えることができるようにする。
	思	春の町探検の経験を生かして、会いたい人や行きたい場所、知りたいことや調べたいことを思い描きながら、町探検の計画を立てている。	春の町探検での経験を振り返ったり、関連づけたりしながら、探検に必要な準備物や町でのふさわしい行動を考え、町探検の計画を立てている。	●春の町探検で撮影した写真や動画、作成した絵地図などを提示し、気になったことやもっと知りたいと思ったことがないか問いかけることで、自分なりに計画を考えることができるようにする。

単元の評価規準

- 知識・技能
町のさまざまな場所を探検し、町の人と関わりを深める活動を通して、町のよさや町の人への思いに気付いたり、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることがわかったりしている。
- 思考・判断・表現
町のさまざまな場所を探検し、町の人と関わりを深める活動を通して、町の場所やそこで生活したり働いたりしている人について考えている。
- 主体的に学習に取り組む態度
町のさまざまな場所を探検し、町の人と関わりを深める活動を通して、それらに親しみや愛着をもって適切に接し、安全に生活しようとしている。

小単元名と小単元の目標	評価規準（おおむね満足できる）		十分満足できると見取る児童の具体例	努力を要する児童への支援
町の 人に 聞いて みよう （4時間） 町で働く人や住んでいる人にインタビューする活動を通して、町の人さまざまな思いや町の特徴、町のよさに気付くことができるようにする。	知	町で生活したり働いたりしている人のさまざまな思いや町の特徴、町のよさなどに気付いている。	「私たちのために毎日早起きして立ってくれているから、見守り隊の〇〇さんはすごく優しいと思ったよ」「〇〇さんは、アレルギーに気をつけた和菓子も作っていると言っていたよ。みんなが食べられるように工夫しているのがすてきだね」など、実際の探検活動から自分なりの根拠をもって、町の人思いや町の特徴、よさに気付いている。	●子どもといっしょに探検メモを確認して、気付きを引き出すように問いかけたり、町の人思いや町の特徴、町のよさなどに気付いている同じグループの友達と話し合う場を設定したりする。
	思	相手や状況に合わせて、適切な行動を意識しながら、インタビューしている。	相手の反応を見ながら、話し方を工夫したり、インタビューの内容を付け加えたりしている。	●うまくインタビューできないときは、計画カードを見直したり、グループの友達に確認したりしてからインタビューをするように事前に声をかけておく。
町の 人と なかよく なろう （3時間） 町の人もっと親しくなりたいという思いをもって、繰り返し交流を深める活動を通して、町で生活したり働いたりしている人の具体的なようすや仕事の工夫、その中での思いに気付くことができるようにする。	知	町で生活したり働いたりしている人の具体的なようすや仕事の工夫、その中での思いに気付いている。	「公園の掃除はとても大変だったけれど、みんなが気持ちよく遊べるようにするために大切な仕事だと思ったよ」「〇〇さんは、図書館を使う人のことを考えながら本を整理していると言っていたのが心に残ったよ」など、町の人思いや自分の生活との関わりに気付いている。	●町の人ようすや仕事の工夫、その中での思いに気付くことができている子どもには、グループの友達とお互いに気付いたことや感じたことを話し合うように声をかける。
	態	町探検で出会った町の人もっと親しくなりたいという思いをもって、繰り返し関わろうとしている。	「〇〇さんのことをもっと知りたいな」「次はいっしょに公園の掃除もしてみたいな」など、町の人といっしょにしたいことやもっと聞いてみたいことを友達と話し合ったり、実際に活動したりしようとしている。	●町の人とうまくコミュニケーションがとれない子どもには、教師が付き添いながら町の人との交流活動を行ったり、事前にグループの友達にサポートを依頼しておいたりする。
町で 見つけた すてきを 話そう（3時間） 町探検で関わった町の人を紹介する活動を通して、町にはすてきな人がたくさんいることに気付くとともに、自分の住む町にいっそうの愛着やよさを感じることができるようにする。	知	自分が住む町にはすてきな人や場所がたくさんあることに気付いている。	春の町探検では気付かなかった町の人思いや町のよさに気付いたり、町で生活したり働いたりしている人やさまざまな場所が自分たちの生活と関わっていることに気付いている。	●すてきな人や場所についての実感をもてない子どもには、出会った町の人思いを想起させたり、グループの友達の気付きにふれられるようにしたりする。
	思	町ようすやそこで生活したり働いたりしている人の思いを「町のすてき」として捉え、その中から「とっておきの町のすてき」を選んでいる。	「私がよく行く公園は、〇〇さんが毎日掃除をしてくれているからきれいだったんだね」「私たちの安全のために、〇〇さんが毎朝見守ってくれているのがすてきだと思ったよ」など、町ようすやそこで生活したり働いたりしている人の思いを自分の生活や経験と関連づけながら、「町のすてき」として考えたり表現したりしている。	●これまでにかいた記録カードや探検メモ、撮影した写真や動画などをもとに振り返るように声をかける。